

各位

会社名 株式会社イントラスト  
代表者名 代表取締役社長 桑原 豊  
(コード番号：7191 東証プライム)  
問合せ先 取締役執行役員 太田博之  
(TEL:03-5213-0250)

## 上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2021年12月17日に、「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」を提出し、その内容について開示しております。2023年3月31日時点における計画の進捗状況について、下記のとおりお知らせいたします。

## 記

## 1. 当社の上場維持基準への適合状況の推移及び計画期間

当社の直近基準日である2023年3月31日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており、流通株式時価総額及び流通株式比率については基準を充たしておりません。当社は、流通株式時価総額及び流通株式比率について、「中計経営計画（第2次）」（2022年3月期～2024年3月期）の成果が反映される2025年3月期までに上場維持基準を充たすために各種取組を進めてまいります。

		流通株式数 (単位)	流通株式時価 総額 (億円)	流通株式 比率 (%)	1日平均売買 代金 (億円)
当社の状況 及び その推移	2021年6月30 日時点	77,986	53.7	34.8	0.75
	2023年3月31 日時点	78,077	71.7	34.9	0.41
上場維持基準		20,000	100	35.0	0.2
適合状況及び当初の計画に記載 した計画期間		適合	2025年3月	2025年3月	適合

※ 当社の適合状況については、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

※ 2023年3月末時点の1日平均売買代金は、2022年1月1日～2022年12月31日の日々の売買代金の平均値を記載しており、東京証券取引所より通知を受けたものです。

## 2. 上場維持基準の適合に向けた取組の実施状況及び評価

### 【流通株式時価総額】について

当社は、「中期経営計画」を推進し、各重点施策に取り組むことで、企業価値の向上を図ります。

#### 中期経営計画の骨子

- ・成長方針：「従来・新規の各マーケットで両軸の成長」「ゼロ→イチの精神 新規の挑戦・育成」を確実に進める
- ・投資方針：15億から20億円を目安に成長投資を計画
- ・財務戦略：中計3か年で見込む累計営業CF25億円を、成長投資と株主還元に分
- ・ESG/SDG' Sの取組の推進

上記の方針に対する取り組みの実施状況及び評価は以下のとおりであります。

新規のマーケットである医療費用保証については、新型コロナウイルス感染症拡大による営業制約の影響を受けた一方、従来マーケットである賃貸不動産分野における家賃債務保証については、新規の保証契約数が順調に推移し、計画を上回る進捗となっております。

投資施策としましては、2022年3月期において新基幹システムの導入が完了し運用フェーズに移行したほか、新たな拠点として、東京本社一番町 ANNEX 及び浜松ソリューションセンターを開設し、2024年3月期においては、さらなる増床を予定しております。また、2022年3月期及び2023年3月期において、DX化推進のため投資事業有限責任組合への出資及びプライム・ストラテジー株式会社への出資を実施いたしております。

財務戦略としましては、保証事業を中心に、計画を上回る進捗となったこと及び一部口座振替による入金サイトが前倒しになったことに伴い、2022年3月の営業CFは618百万円、2023年3月期の営業CFは2,783百万円となっております。得られた営業CFを上記の投資に配分したほか、配当の基本方針に従った株主還元を実施いたしております。

なお、ガバナンス強化の一環として、2021年5月に指名・報酬委員会を設置し、2022年6月に支配株主等との取引に関する審議・検討を目的とした特別委員会を設置するとともに、株主総会招集通知において、取締役のスキルマトリックスの開示及び招集通知の英訳を実施いたしました。

2023年3月末の流通時価総額は、71.7億円と2021年6月末時点から18億円の増加となりました。これは、中期経営計画に基づく各種施策を着実に進捗していることの成果と評価しております。

2024年3月期においては、中期経営計画の最終年度として、各種数値目標を確実に達成することで、中計経営計画の成果が反映される2025年3月期までに上場維持基準を達成できると評価いたしております。

#### 中期経営計画に対する進捗状況

	2023年3月期 実績	2024年3月期 業績予想	2024年3月期 計画
売上高 (百万円)	6,491	8,500	8,000
営業利益 (百万円)	1,627	2,100	2,000
営業利益率 (%)	25.1	24.7	25.0
配当性向 (%)	31.1	31.4	30~40
ROE (%)	20.8	—	20.0超

注：2023年4月1日付で、株式会社プレミアライフ社の株式を取得し、同社が当社の子会社となったことにより、2024年3月期の業績予想数値は、連結業績予想を記載しております。

## 【流通株式比率】について

当社は、IR・PR活動を継続的に推進することで、流通株式比率の向上を推進します。

### ① IR活動の推進

- ・個人投資家説明会を継続的に実施し、投資家層の拡大を図ります。
- ・機関投資家等との面談を通じて、開示資料・情報の内容の改善を継続的に図り当社の理解の促進に努めます。

### ② PR活動の推進

- ・コーポレートブランディングへの取組を継続し、知名度向上を図ります。

上記の方針に対する取り組みの実施状況及び評価は以下のとおりであります。

IR活動については、個人投資家説明会及び機関投資家等との面談を継続的に実施いたしました。また、HPにおいて、決算説明会の動画や投資家様からのご質問への回答、各種PR関連の開示を通じて、当社に対する理解の促進を図っております。合わせて2023年3月期より決算説明資料の英訳に加え、決算短信の英訳についても実施いたしております。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大の収束状況に鑑み、対面での説明会開催を再開してまいりたいと考えております。

2023年3月末の流通株式比率は、34.9%と2021年6月末時点から若干の増加となりました。IR・PR活動は継続的に推進することで、成果として現れてくると考えており、2023年3月末時点では、適合していませんが、引き続き上記施策を継続することで、2025年3月期までに上場維持基準を達成できると評価いたしております。

以上